

2011年9月29日
野村不動産株式会社

報道関係者各位

湾岸エリア超高層タワーマンション(52階建、高さ約180m)
『^{しのめ}プラウドタワー東雲キャナルコート(600戸)』10/1～モデルルームオープン
～防災・液状化対策の充実&「東京都マンション環境性能表示制度」で初の全項目“3つ星”取得～

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:鈴木弘久)は、東京都江東区東雲においてタワーマンションプロジェクト『プラウドタワー東雲キャナルコート(総戸数:600戸、52階建)』を推進してまいりましたが、平成23年10月1日よりモデルルームをオープンいたしますので、お知らせいたします。なお、今後の販売スケジュールは、第1期販売を11月下旬に予定しております。

本物件は、平成12年より本格的に開発が進められている「東雲キャナルコート」内に位置します。「東雲キャナルコート」は、開発当初より街の美観や街並みの統一性を保つため「街づくりデザインコンセプト」が策定され、建物の形状や角度、広場状空地の創設などが計画的に定められており、良好な住環境を形成しております。

また、本物件は東京メトロ有楽町線「豊洲」駅など3駅3路線が利用可能で、「銀座一丁目」駅へは直通5分、「東京」駅へは5km圏内という交通利便性ととも、24時間営業の大型商業施設「イオン東雲店」へ徒歩3分、敷地内には認可保育園(平成25年開園予定)、隣接地には23区内初の認定こども園と高齢者施設が融合した「グランチャ東雲」、さらに商業施設等が充実した豊洲エリアも日常生活圏という生活利便性を併せ持ちます。

本物件では、震災後に実施したお客様アンケートに基づき、新たに地盤改良工事の範囲を広げるといった液状化対策やタワー内に9か所の防災倉庫を設置するなどの防災対策を一層充実させています。また、東京都が定める「東京都マンション環境性能表示制度」(2009年度基準)の全ての評価項目において、“3つ星”を取得した都内初のマンションです。さらに、入居後の住民同士のコミュニケーションを育む空間の提供やフィットネスルーム等の多彩な共用施設、太陽光発電や雨水再利用システムを採用するなど「安心・安全」<環境>を重視しました。



<現地48階相当からのベイエリアの眺望>(イメージ写真)

【『プラウドタワー東雲キャナルコート』のこだわり】

①防災対策・液状化対策

◆タワー内には、5～8階ごとに計9か所の防災倉庫の設置

1階には防災備品の設置の他、災害時に災害本部を開設するための備品を収納。居住者の連絡拠点や一時避難場所としても機能

◆非常用発電機を設置することにより非常用エレベーターを法規制の約4時間に加え、プラス約20時間(発電機の負荷を低減した運転状態)の稼働を実現

※状況により延長時間は、前後する場合があります

◆敷地内の液状化対策

当初より液状化対策を行っていた範囲に加えて、震災後新たに外構工作物の一部や配管などのインフラを守るために、エスミコラム工法により地震時の地盤の変形を抑え、液状化のリスクを低減

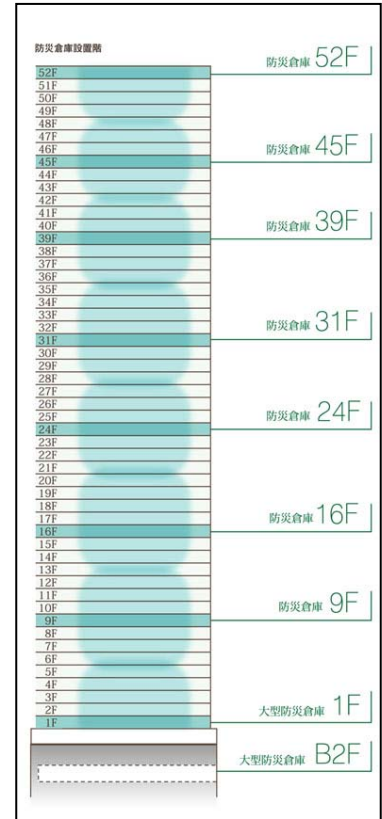
◆冷蔵庫・食器棚・家具の転倒を防ぐための下地を全戸標準実装

冷蔵庫・食器棚置場は、床より約140cmから天井まで壁に下地を設置。また、大きな家具を置くことが多い各住戸間の乾式耐火間仕切壁には、床から約170cmから約220cmまで下地材として鉄板を実装、金具等で固定が可能

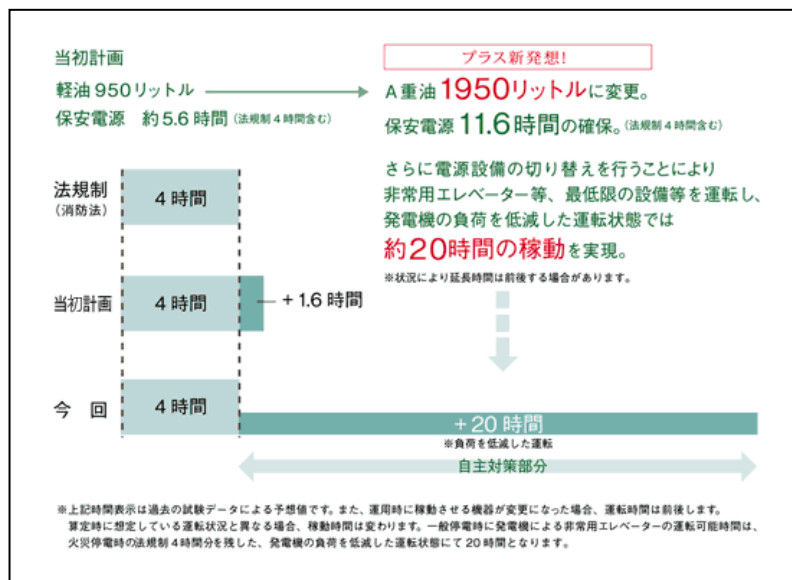
◆タワー内にある16階と31階の空中庭園には、災害時に飲料水が無償で取り出せる機能の付いた自動販売機を設置、住戸内には貯湯タンクに約370リットルを備えており、非常時には非常用取水栓から直接水を取り出せ、生活用水として利用可能

◆「防災ガイドブック」を新たに作成し、全居住者に配布

災害時の初期行動、避難ルート、持ち物リスト、計画停電対策などが記載さらに、マンション内の防災設備や避難経路を記載した「防災設備ガイド」も配布



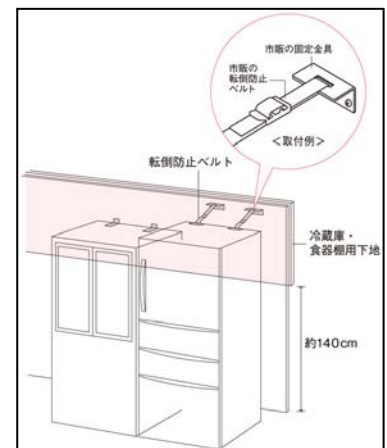
＜防災倉庫設置位置図＞



＜非常用発電機 発電時間参考図＞



＜防災倉庫＞参考写真



＜冷蔵庫・食器棚固定下地イメージ図＞

②環境配慮・節電仕様の導入(プラウドエコビジョン採用マンション)

本物件は、当社における快適な住まいと環境との調和を目指す環境コンセプト「プラウドエコビジョン」による暮らしのエネルギーを「へらす」「つくる」「いかす」の3つの視点でエコを追求する取り組みが導入されています。さらに、東京都が定める「東京都マンション環境性能表示制度」(2009年度基準)の全ての評価項目において、「3つ星」を取得した都内初のマンションとなります。

建物の断熱性	★★★
設備の省エネ性	★★★
太陽光発電・太陽熱	★★★
建物の長寿命化	★★★
みどり	★★★

この表示は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づくものです。 **2009年度基準**

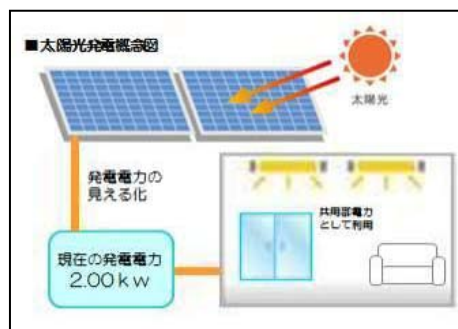
◆「へらすエコ」

- 専用部全窓を複層ガラスとし、西側窓には「Low-E 複層ガラス」の特殊金属膜により室内への紫外線を軽減、「次世代省エネ基準」に適合した断熱等級4を取得予定
- 電気と大気熱を利用した次世代給湯システム「エコキュート」や「保温浴槽」、ダウンライトに省エネ効果の高い「LED」を導入、ゴミの排出量を減らす「ディスプレイ」といった省エネ設備を標準装備
- 自走式駐車場には電気自動車用の充電コンセントを設置(14箇所予定)し、環境にやさしいEV車の導入をバックアップ
- エレベーター運転時に発生する「回生電力」を建物内で再利用するエレベーターシステムを採用



<LED照明>参考写真

<太陽光発電概念図>

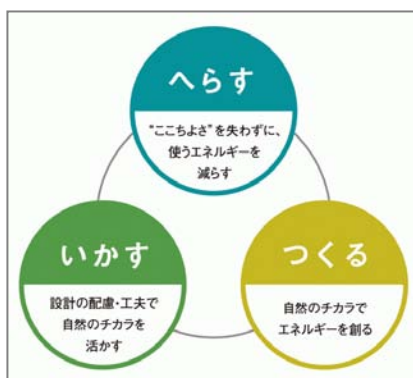


◆「つくるエコ」

- 自然エネルギーである「太陽光発電(10kw)」により発電させた電力を共用部の一部に利用
- 雨水再利用システムを採用し、敷地内の植栽に散水利用

◆「いかすエコ」

- カーシェアリングシステム(1台)の導入
- 電動自転車などによるレンタサイクルシステム(5台)を採用



<プラウドエコビジョン 概念図>



<カーシェアリング>イメージ写真

③入居者のコミュニティ形成を育む

- ◆入居前後で顔見知りになれる入居者の交流の場として「ハウスウォーミングパーティー」を実施
- ◆入居者間のみならず、家族間、世代間のコミュニティを深めるデザイン提案として、カフェサービスや焼き立てパンを提供する「カフェラウンジ」の設置や様々な活動の拠点となる「ミーティングルーム」、眺望や花火等が楽しめる「屋上庭園」のほか、「AVルーム」、「ゲストルーム」、「キッズルーム」、「ゴルフレンジ」や「フィットネスルーム」など多くのコミュニティ形成を育む空間を設置
- ◆入居後、マンション内の防災設備や普段見る機会の少ない設備などを見学する「マンション知ってみ隊」の開催や防災訓練・消防避難訓練の実施や「クリスマスツリー飾りつけ会」の実施、さらに、「お祭りサポートセット」としてお祭りなどイベント会場に対応できるよう事前に散水栓や外部コンセントを設置



<ゴルフレンジ>イメージ写真



<フィットネスルーム>イメージ写真

【参考資料】(完成予想図)

＜カフェラウンジ 完成予想図＞



＜AV ルーム 完成予想図＞



＜花火や眺望を楽しむことができる 屋上庭園 完成予想図＞



＜パーティールーム 完成予想図＞



＜プラウドタワー東雲キャナルコート 外観完成予想図＞



＜グランドホール 完成予想図＞



<現地案内図>



【Proud Tower East Cloud Canal Court 物件概要】

所在地	東京都江東区東雲1丁目1-23他(地番)
交通	東京メトロ有楽町線「豊洲」駅徒歩11分・「辰巳」駅徒歩11分、ゆりかもめ「豊洲」駅徒歩12分、東京臨海高速鉄道りんかい線「東雲」駅徒歩15分
敷地面積	9,615.95㎡(認可保育園部分1,000.10㎡含む)
延床面積	74,170.46㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上52階 地下2階建
総戸数	600戸
間取り	2LDK～4LDK
専有面積	58.87～103.74㎡
駐車台数	363台(自走式、内カーシェアリング1台含む)
駐輪台数	自転車置場1,232台、レンタサイクル置場5台、バイク置場60台
販売最価格帯(予定)	5,000万円台(1,000万円単位)
販売時期(予定)	平成23年11月下旬
引渡日(予定)	平成25年4月中旬
売主	野村不動産株式会社
設計・監理	株式会社大林組 一級建築士事務所
施工	株式会社大林組 東京本店
着工時期	平成22年4月

【本リリースに関するお問い合わせ窓口】
 野村不動産株式会社 広報部(柿原・北井)
 TEL03-3348-7805・FAX03-3343-0445